

船舶事故調査報告書

平成22年3月4日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年9月21日 10時15分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、愛媛県大洲市青島東方沖 伊予青島灯台から真方位074° 4.3海里付近（概位 北緯33° 45.2′ 東経132° 33.6′）であった。）
事故調査の経過	平成21年10月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第七笑福丸、1.5トン EH3-55300、個人所有 7.65m (Lr) × 2.03m × 0.71m、FRP ディーゼル機関、120kW（漁船法馬力数）、平成11年6月3日
乗組員等に関する情報	船長 男性 78歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年12月26日 免許証交付日 平成21年5月25日 (平成26年10月29日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、一本釣り漁の目的で、平成21年9月21日05時30分ごろ大洲市長浜青島漁港を出港した。08時00分ごろ帰港する予定の船長が、10時00分になっても帰ってこなかったため、僚船が搜索したところ、青島東方沖で旋回中の無人の本船を10時15分ごろ発見した。 船長は、9月22日08時30分ごろ本船発見場所付近で海上に浮かんでいるのを僚船に発見された。死因は溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 南寄り、風速 1.9～6.4m/s 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期
その他の事項	本船は発見時、人が歩くより遅い速力で左旋回中であった。 船長は、片側の耳に補聴器を使用していた。 船長は、発見時、手動膨張式の救命胴衣を着用していたが、救命胴衣の紐を引っ張った形跡はなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 本船は、青島漁港を出港した後、船長が落水したものと考えられる。船長が、落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が青島漁港を出港した後、1人で乗り組んでいた船長が落水したため、発生した可能性があると考えられる。	